

平成29年度学校評価アンケート集計結果について

1. 実施

(1) 対象者 教職員（常勤）、全校生徒及びその保護者

(2) 期間 12月6日（水）～12月11日（月）

(3) 方法

- ・無記名で実施、ただし、生徒及び保護者については生徒の学年・組を記入。
- ・マークシートを用い、各項目を次の段階で評価する。
教職員及び生徒はA・B・C・Dの4段階
保護者はA・B・C・Dの4段階のほか、E「わからない」
- ・マークシート裏面に自由記述。

(4) 回答数

- ・今年度 教職員 58 (100%)、生徒 823 (99%)、保護者 796 (95%)
- ・前年度 教職員 59 (98%)、生徒 789 (94%)、保護者 751 (89%)

2. 考察

以下、肯定的評価（A+B）の割合が80%を超えることを一つの目安とする。また、Aを100点、Bを70点、Cを40点、Dを10点で点数化して各項目の平均を求め、前年と比較する。

(1) 教職員について

A+Bの割合で見ると、教職員は25項目中、「23 職業倫理の高揚の取組み」の100%を含め13項目が90%を超える。80%を切るものが4項目、「4 校務分掌のバランス」「7 教育課程は進学校として適切」「18 緊急事態の場合の組織的対応体制」「21 施設設備」である。「4」はやや改善、「7」は大きく改善、「18」は課題あり、「21」は5割を切り、最も低い数字である。

前年比でプラスになった項目は13、マイナスになった項目は12とほぼ同数。特にプラスで目立つのは、平成30年度からの教育課程変更が決定していることによると思われる、+7.1の「7」、本校職員の同僚性や組織力の高さを示す、+6.7の「5 各分掌の連携」と+3.8の「10 組織的指導」。

逆にマイナスでは、-7.3の「24 情報発信」、-6.8の「21」、-6.6の「18」、-5.8の「9 授業研究」、-5.6の「19 防災体制」と続く。

冷暖房の改善、ホームページや文書等を利用した情報発信、危機管理体制・防災体制、授業研究について、課題があると評価されている。

その中でも、「18 緊急事態の場合の組織的対応体制」及び「19 防災体制」は下降幅も大きいですが、平均点が「18」は68.4、「19」は69.5点と70点を下回っている。最低点56.6点の「21 施設設備」に次ぐ低い点数である。今年度、生徒の重大事案が発生したこと。また、一斉メールは導入したが、その使用についての周知や登録確認の徹底まで至っていないことなどが影響していると思われる。

(2) 生徒について

生徒は13項目中、「1 入学してよかった」「2 学校雰囲気良好」「5 学校行事は充実」「6 先生の熱意」「7 親身になって相談」「10 授業のレベル」「11 進路指導に満足」「12 進路情報提供」の8項目でA+Bの割合が90%を超えた。残り2項目が80%台、3項目が70%台であり、大

部分の生徒は学校生活に満足している様子が見える。

前年比でみると、プラスの項目はなし。下がり幅が大きいのは、 -7.6 の「13 学校の情報発信」、 -7.5 の「8 施設設備」である。

次に学年比較でみると、全 13 項目において、2 学年の A 及び A+B の割合が 3 学年で最も低い数字である。特に、2 学年も文武両道を目指して、しっかり努力していると思えるが、C+D（どちらかと言えば当てはまらない、まったく当てはまらない）で 43%となる「3 文武両道の実践」については、生徒の評価は意外な結果である。

(3) 保護者について

A+B の割合でみると、保護者は 18 項目中、「1 入学させて良かった」が 97%を超える。この数字が表すように、保護者にとって満足度の高い学校である。ほかに 4 項目（「2 教育方針の理解」「11 学校行事」「12 生徒会活動・部活動の充実」「17 保護者・地域からの信頼」）が 90%を超えている。残り 13 項目のうち 9 項目が 80%を超えており、全体的には高い評価が得られている。

「9 悩み相談への対応」「13 ボランティア活動」「14 施設設備」「15 心身の健康」が 70%前後の数字であるが、この 4 項目については、「E 分からない」の回答が多く含まれているため、A+B の数字が低めになる。ただし、それを考慮しても C+D が 25%となる「14」については、評価はよくない。

前年比では、「7 進路指導」と「11 学校行事」を除き、マイナスである。下がり幅が大きいのは、 -7.9 の「13 ボランティア活動」、 -4.3 の「15 心身の健康」である。

次に学年比較でみると生徒と同様の結果が見える。2 学年において、A 評価では 18 項目すべてが、A+B 評価では 18 項目のうち 12 項目が、3 学年で最も割合が少ない。

家庭において子どもを通して多くの学校情報を得る保護者についても、生徒の評価と同様の傾向がみられるのは、ある程度想像できることであろう。

(4) その他

自由記述では前年同様、生活、授業、部活動、行事や施設設備に関する要望や思いが寄せられた。特にアンケート実施が、暖房使用開始直後の時期であった事も起因してはいるだろうが、冷暖房についての改善要望が多く寄せられた。

教職員の自由記述には、多忙化解消・校務分掌の平準化、施設設備に関わる記載とともに、一斉メールの運用や昇降口の施錠等、危機管理に関わる記載があり、今後検討していきたい。